

# 第8回熊本市行政区画等審議会 会議資料



日時 平成22年4月6日(火) 10時00分～  
場所 KKRホテル熊本 2階「五峯」



## 「第7回 熊本市行政区画等審議会での区割りに案に関するご意見」

〔赤星委員〕

学園内の立場を福祉関係に置いているので意見をもらっており、私の意見はこれまで述べてきた意見を案として区に直したらこのような形になるのではないかとということで意見として述べさせていただきたい。

市民の自治権というのは選挙で反映し、議会、民主主義が基本なので、市議会がどういう構成で成り立つかということを考える時に、こういう考えが必要ではないかということ。今の現体制が大変便利で、新たな区割りになって、みんなの戸惑いがあるのではないかと。ただ、今日、区役所の説明を聞くと生活保護の申請も本庁に行かず区役所でいいということがもう少し浸透すればこの辺は改善するものと思う。

それから全国的にも熊本市も財政難なので、少数の区割りが妥当ではないかと思い、区案としては4区案を出した。

区役所の位置も財政的なことから考えた。特に城南も植木も建物も立派だ。

そして、補足意見で出しているように、これに固執する気はない。私のこれまで皆さんに述べてきた意見で提案したものだし、6回審議会でも提案された4区案というのも同意できる。ただ、皆さん5区案で出されているし、それはそれとして検討して私の案に固執する気はまったくない。

〔大澤委員〕

城南町としては補足意見で書いてあるように当初6区案だったが、今回いろんな意見等を踏まえ、4区案を出させてもらった。この4区案の特徴は、交通の利便性を重視したところ。当初の5区案では、富合町の旧役場が区役所という位置になっていたが、位置の変更を求めている。特に市民の方の意見を少しでも反映した区割をもとに5区案を修正した上で4区案とした。A区は清水、北部地区で非常に反対があることから、ここにはそこまで踏み込んだ考えは出さなかったが、B区、C区は5区案のB、Cを基に一部校区を各意見をもとに入れ替えた。市民のこれまでの生活圏域、交通の移動範囲を考慮し、一応4区案として出したのでご検討いただきたい。ただ、富合区役所の案の位置を変えることから経費的には若干高くなるが、将来的な見通しをもとにその地域の発展性を考えた場合、十分可能ではないか。C区は旧免許センターを区役所とするならばもっと利便性が高くなるのではないかとということも考慮した結果である。

〔崎元委員〕

基本的には5区原案を考えていたが、議論の中で大久保委員が非常にいい意見を出されたのでそれに賛同するという立場で現5区案を修正する。

1点目はD区。北の東側。龍田公民館管轄の5校区域。この5校区を北のA区から東のD区へ移すというのが1点。

2点目は、東と中央とのD区とC区の境界で中に食い込む形になっていた西原校区。歴史的に帯山からの分校的な新設という形で発展してきているので、帯山校区との一体感を考えてD区からC区に移すというのが2点目。

3点目は西の方と南に関係するが、海を持つ地域という考え方、旧飽田、天明の地域をE区からB区に入れる。以上、人口が10万から20万程度の今までの案では最も人口差の少ない5区案ということになる。当初審議会でも定めた原則を比較的よく守っている。ま

た面積的にも均衡しているので人口密度あるいは市民の便益にもバランスの良い案だと考える。

修正は、パブリックコメント等、市民への説明の時に出示された意見の全部ではないが取り入れつつ、地域の発展、特性を考慮した案ということが最大の特徴。第5回、6回の会議で大久保委員から、北の地域の植木、旧北部、高平、城北、清水、麻生田までなるが、これは合志市あるいは山鹿市、玉名市への熊本の連携の基になる地域で北の農業地域、南の住宅地域があるが、これを中心に都市間の連携を深めていける地域であるというコンセプト。

それから龍田から東側を含めD区の部分は、菊陽あるいは益城といった辺りの連携を深めつつ都市づくりをしながら大津、阿蘇への広がりネットワークの中心となると考えられる。

日吉、日吉東、田迎から富合、城南地域は、嘉島あるいは宇城、宇土までを含めた都市づくりの中心エリアとなるという都市の発展が考えられる。

西の方は熊本で唯一海を持ち、熊本港あるいは来年開通の新幹線駅舎等を持った地域でもあるから、天草あるいは長崎に向けたエリアとしてのまちづくりが考えられる。

こういう地域の特性と発展性を考慮して従来の条件をほぼ満足しつつ均衡あるバランスをとった案ということで5区の原案の修正という形で提案させてもらった。

〔米村委員〕

私たちの地域住民の要望として、まず5区案。河内、中島、飽田、天明は有明海沿いで海苔の生産者がいる。それから松尾から飽田、天明はナスの生産地で、今JA組合員が160名程度いる。そのようなことで飽田、天明は海岸沿い地域形態が一緒であるためB地区に入れてくれという要望。

それからもう一つは外国から密航者あたりがあるので沿岸警備協力隊という隊が来ている。漁業をしている方は船を持っているので、いざという時は船を出して協力するということから修正案として5区案の④を要望する。

〔上村委員〕

修正は区役所の位置で編成は修正なし。

区役所の設置の目的を達するためには6区案とか3区案、4区案というのも出ているが、5区案が一番適切という立場に立って5区案を支持する。

1つは人口規模にバランスがとれているため区役所間の連携がスムーズに取れやすく、しかも効率的な職員配置のもとに均衡の取れた区政が期待できる。

それと区民と行政が身近な結びつきのもとに連帯をして市民協働のまちづくりが期待できると。特に4月から自治基本条例が施行されると、住民と協働のまちづくりが本市の基本となる。その時に10万から15万程度の人口規模が行政と市民とが向き合う、要するに顔が見えやすいのが条件下にあるのではないかと思う。

3番目は、保健福祉センターが市民の健康と福祉に関する事務事業が行われているが、仕事の内容は保健師が家庭に出向いて健康のアドバイスや情報提供をするなり、乳幼児等を中心に集団検診や予防接種が施設で行われている。区の数によって1つでもカットされるとなると住民の利便性が損なわれることになるので、そこから5区制というのが必要ではないかと思っている。

4番目は効率的な職員の配置により、少なくとも今の市民センター、総合支所機能については、現状維持を保つことができる。

区バスは、要は利用者確保するような路線の選定をしなければ赤字路線に陥って将来廃止というような事態も予測されるので、そのようにならないように路線を選定をしていただきたいと強く要望する。

それから区役所の設置場所だが、要望、陳情等を見たところ免許センターあるいは市営バスの小峯営業所等も出されている関係で、D地区については再検討をしてもいいのではないかと考える。また、E区についても、人口密集地や交通アクセスの面からも再検討してもいいのではないかと考える。

昨日事務局に送ったため、この資料には掲載されていないが、私の行政区画編成に対する基本的な考えということで4点口頭で言うと、1つは「人口バランスがとれた人口規模による職員の効率的な配置」「新旧市民の一体化を図ることを根幹とした区画の編成」やはり合併をするわけだから同じ屋根の下でまちづくりの行動をすべきではないかと考える。

「市民センター、総合支所の機能の確保」少なくとも現状維持と。機能の状況を見ながら拡充をするというようなことも必要ではないかと考える。

それから「区バスの運行」この4つを私の行政区画の編成に対する基本的な考えということで出している。

〔桑原会長（植村委員）〕

本日欠席の植村米子委員の5区修正意見を説明させていただく。4区について審議会で話し合いをしていただきたい。但し、現在の保健福祉センターの役割を考えると熊本市の各保健福祉センターが所在している5区の場合でいいのではないかと考える。

それから、区役所の位置について、E区的位置は予算上どうしてもだめであれば富合総合支所でも仕方ないと思うが、多くの人の提案があったように川尻校区の方がいいのではないかと考える。具体的には、フェイス学院の跡にすれば可能ではないかと考える。というご意見を寄せていただいている。

〔中尾委員〕

審議会に参加して、区割りは簡単にいかないと思った。今まで積み上げてきたものを基本に考えると、基本的に5区案をベースにして、そしてその案で不足するところのいろいろな線引きの具合を若干修正を加えていったらどうかと考えて意見を伺っていただいた。

〔岩永委員〕

結論から言うと、5区案で編成をしたいと考えている。それから区役所は富合総合支所の建物は立派なものがあるので、これを活用すれば、十分区役所の機能を発揮すると思う。

〔新立委員〕

5区案で、10万から15万の人口で区を設定した方がいいのではないかと考える。2、3万人の区にすると、いろいろな面で経費もかかるような気がする。

区役所の位置については、区が決まらない限り区役所をどこに置いた方がいいとは言えないと思うので、区の数をはっきりした上で検討した方がいいのではないかと考える。

〔桑原会長（南委員）〕

南委員のご意見は、仮に上熊本と城東小学校の区が分断されたとしても、城東小学校は現行の状態がいいというお話を聞いたので、区割りについては5区案を支持したいとこの

と。また、区役所が遠すぎるという意見が出ており、交通アクセスについて少し配慮してほしい。というようなご意見。

〔森徳和委員〕

今回、区割りの線引きを決めていくうえで可能な限り市民の意見を取り上げて修正をしていくべきではないかということ。これまで案を示して、説明会、パブリックコメント、アンケートを実施してきたが、その中で様々な意見が出されている。全てを取り上げることは不可能だが、可能なものは取り上げて市民の意見をもとに案を作り上げたという形を作るのが必要ではないかと思う。行政が計画を進める時に、案が決まっていって手続き的に住民の意見は聞くけれども、それは聞いた形にすぎず、結局何も意見が反映されないということで市民に不満が残るといことがたまにあるので。

〔桑原会長〕

森徳和委員が言われた方向でこれからの審議も進めてきたいと思っている。

只今、各委員から提案のあった修正案、意見についても、本審議会でも検討案として示した5区案6区案と合わせて、議論を進めたい。

今の時点では、赤星委員からも3区という意見をいただいているので、3区から6区までの案が提出されているが、4区、5区については住民のアンケート調査も含めて、いろいろな意見が出ているので4区案、5区案は後で議論するとして、最初に3区案、6区案について、審議会委員の皆さんの意見を伺う。

3区案について、赤星委員が意見で触れられており、公明党市議団からも2月10日付けで3区案が示されていることから、3区案について賛同される方はいるか？

〔上野副会長〕

3区案については、いくつかの政党から要望書等で出されており、また、考え方としては赤星委員から出されている。合併の際、当時は住民に身近な選挙区を合併反対に掲げられていたが、今になれば割らないほうがいい、政令市になんでなるのみたいな話すら感じられる。

3区案は、他の委員の意見の中にも支持はなかったようなので、まな板から外して検討できるのではないかと。

〔桑原会長〕

赤星委員の先ほどの説明も、同様の趣旨なので、3区案についてはこの審議会の検討から外させていただきたいと思う。

続いて、6区案についての扱いだか、これは第5回審議会でも委員の皆さんお一人お一人にどの案に賛成かと意思確認をさせていただいた時に、戸内委員と大澤委員と林委員と村上委員が6区案に賛同されたと記憶している。戸内委員と大澤委員は4区案を提出されているので今の時点では6区ではないということによろしいか。

林委員と村上委員は今の時点でどの様な意見をお持ちか。

〔林委員〕

人口の基本的な考え方の案と新たに合併する地区の要望を盛り込んだ案を、同じ土俵で検討すべきと考えて、少数意見と分かっていたが、全くあげないのもいけないと思い、あえて言わせていただいた。

現在の考えは、数字でいうと5区の④に賛同させていただく。

〔村上委員〕

龍田校区、弓削校区、楠校区なりの5校区が、まちづくりを龍田公民館を中心にやっており、そこからの要請もあり、植木町の区役所では交通アクセスが悪いということで6区案を支持したが、5区案の修正が2、3でているので、5区案の修正ということ意見をみる。

〔桑原会長〕

6区案に賛成されていた委員は、今の時点では他の案に考えを変えておられる。他に委員の中で6区案に賛成される方はいるか。いないようなので、審議会の検討の対象から6区案についても外させていただく。

続いて赤星委員、戸内委員と大澤委員の共同の提案となっている2通りの案がある4区案について検討したい。なお、この4区案についても、事前に説明させていただいたとおり、公明党市議団からも提案がまっていることを申し添える。

〔赤星委員〕

私の4区案は、庁舎も一緒に書いているが、庁舎については新立委員同様区を優先して考え、庁舎についての意見はカットされて結構。4区案②で結構。

〔桑原会長〕

4区案の②で結構ということなので、4区案の②についての意見を伺う。

私から提案者に伺う。具体的な区役所の場所として、県道田迎木原線と県道神水川尻線との交差点付近に新設という提案になっているが、これは具体的な用地の用途はお持ちか。

〔戸内委員〕

委員なので場所の用途とかはない。それは行政の事務局の役割ですから。

〔桑原会長〕

この審議会で作った区役所の位置の基準としては、一つは、既存施設を出来るだけ活用しようということ、もう一つは、用地確保の可能性ということで政令指定都市移行までの限られた期間内に適当な規模の用地が確保できることが必要となっているので、具体的に用地の用途をお持ちかと伺ったもの。

〔戸内委員〕

将来80万都市100万都市を目指す中での区割りを考えるべきだというのが私の考え。そういう中で区役所の位置はどこがいいのかということ。商業施設、病院施設等が多くなければいけない、またそれが将来可能かということの一つは考えるべきだろうと。

提案している土地は、市街化調整区域となっており、事務局の方で調整区域を除外することは政策的には可能ではないか。田迎木原線に提案をしているが、近辺に2箇所の市民センターがあり、区役所が建てば、市民センターを廃止してもいいのではないか。将来的なランニングコストが当面高くなるけれども、将来30年50年考えたときには、行財政改革ができればしないか。

交通の利便性についても、私ども城南町においても今熊本市に行っているのは266号、

田迎を通る旧道若しくは浜線を通る。そういう方向で向いている。だから校区の利便性等からいってもこの辺が一番良いのではなかろうかと。それから、旧免許センターについても確かに1万3千㎡位の面積がある。施設の用地については6千㎡くらいが目途になっているが、将来1万3千㎡を買ってここに区役所を1つ作るにしても、余分な土地は区の色んな施設を考えられないかということを含めて提案を出しているところ。

〔森日出輝委員〕

5案の③と④とでており、検討案ではB区に飽田と天明が入っていなかったが、7つある漁協も合併しろといわれている。JAも西部市民センター前に農業センター施設を作りたいと要望がでている。消防署も西部市民センター前に作りたいという要望が出ている。このように、飽田天明も含め水産業と農業も一体となってB区にお願いしたいということ。

〔上村委員〕

区役所の数が少ないほど、財政的にメリットがあるが、まちづくりとか住民サービス面を考えた場合、少なくとも5箇所くらいは拠点施設を作るべきだと思う。消防組織の再編も将来は出てくると思う。

いわゆる市民の安全安心のまちづくりの一つの拠点なので、消防についても5署体制がベターではないかと思うし、将来の区政を考えると4区よりも5区の方がよりメリットがあるのではないか。

〔赤星委員〕

財政のことだが、区役所が増えると人員配置も多くしないとイケない。そうすると正規の職員ではなく嘱託員とかの増員しか考えられないと思う。福祉の仕事では、専門職を入れないといい結果が出ない。先だって児童相談所に専門職を置いてほしいといったが、実際そうはいかない。有能な人材、手厚く給料を出して、配置するだけの財力が勿論あればいいと思うが。

〔崎元委員〕

赤星委員の意見は意味が良く理解できなかったが、人員配置については5区案と6区案を議論したときに、5区案は現体制でやれると事務局から答えがあったと、それは間違いないか。6区案になると不足すると。

〔事務局〕

間違いない。付け加えると、赤星委員が言われた、児童相談所と福祉の専門職が必要な業務については、区役所に業務を下ろす予定はない。大江の交通局の横に子どもセンターの建設準備にかかっているが、ここに一括して専門職は集めたいと考えている。

〔崎元委員〕

4区案②に対する意見だが、初期投資に限ってではあるが、2つの区の区役所を新規に作るとなると詳細な検討が必要だし、現有に十分な建物があるので、それを活用するのが基本の原則を守ることはないか。

ただ、この4区案②は、パブリックコメント等の意見を非常によく吸収されており、検討に値する案だと思うが、今の区役所新設という点とB区の区域のコンセプトが理解できないということ、それから、選挙等では比較的区の人口は多い方がいいという意見もある

が、24万或いは25万に近い区は、今までの原則を少し外れており、少し無理があるのではないか。

〔大久保委員〕

4区案の②と私の提案している5区案の③との違いは、西原、帯山、帯山西、砂取これをどちらにいれるかということと、飽田天明をどうするかが違うが、大きな違いは飽田天明をどちらにいれるかということ。崎元委員が言われたように、中央の部分と海側の部分は少しコンセプトがまちづくりとしても違う。先ほど森日出輝委員が言われた海に沿った地域の特異性を見ていくという意味では、やはり飽田、天明は河内、小島、中島辺りとの一体感というのがある。

〔戸内委員〕

4区を考えた者としては、5区案に示されている市の中心部と郡部を区別するのはいかなものかと。都市部と郡部を一体とした田園都市構想的な感じで考えてもいいのではないか。

〔坂田委員〕

5区の②の場合には、法定協議の中で植木を区役所にするということ。それはあくまでも植木町を単独区とした場合に区役所とするということ。それを法定協議で謳ってあるということ。それから池田、花園、城西をC区に入れてある。先ほど交通体系の中で申し上げたが、池田、花園、城西の地域を西部、南部の方に交えるということは、交通網がどうなっているのかを考えていただきたいと思う。今は市役所に向かった交通網しかない。ただ人口とかそういう形だけではなく、現実の市民の皆さん方の足も十二分に考慮していただきたい。これから案を絞っていかれると思うが、アンケートまたはパブリックコメントなど市民の皆さんの意見を十分尊重してほしい。

〔桑原会長〕

交通体系について再度の意見である。これは4区案、5区案のいずれの案にしても共通するので、委員の皆さんも審議にあたっていただきたい。

〔赤星委員〕

地域のコンセプトのことですごくいい話があったが、今の熊本市が市庁舎を中心に熊本城というシンボルがあってそこでのまちづくりを考えられている。実際には、イベントがあると人が来ているが、普段はドーナツ現象ではないかというぐらい買い物客も市外の方に行っている。そういう意味では庁舎に集まる人口は少なくしない方がいいというのがある。そういう意味でこの区割りの方がより現状を無理せずに発展させながらいくのではないかと考えるが。

〔桑原会長〕

他に4区についての意見はあるか？

委員の皆さんに4区についての意見を伺ったが、4区で行くべきと主張されたのは、大澤委員と戸内委員と赤星委員の3人と思う。他に4区を支持される方はいるか？

それでは、4区を支持される方はそれほど多数ではないので、熱心に説明いただいたが、4区についてはこの審議会の検討の対象から外させていただくということによいか？

(はい、との返答)

〔桑原会長〕

そのようにさせていただく。

続いて、残ったのは5区案ということ。5区案については、大久保委員・崎元委員、米村委員から意見を伺っている。それぞれの意見を拝見し、説明も聞いたが、米村委員の主張は飽田、天明と北の方にある松尾、小島とかが、生活形態とか産業構造とかが似ており一帯にすべきとの主張でよろしいか。そうすると、大久保委員・崎元委員の主張と違うのは、東部の地区で龍田とかをどうするのかと西原をどうするのかの違いと思うが。

米村委員、東部の方は大久保・崎元案でいいということであれば、米村委員の案も一緒にして1つの案で議論することとしたいが、よろしいか？

(米村委員、はいとの返答)

〔桑原会長〕

現在、審議会の審議の対象となっているのは、本日、江藤委員から提案いただいた案、第4回の審議会で決めていただいた5区案(検討案)、それから今の久保・崎元案に米村委員の案を一緒にしたこの3つの案になるので、この3つの案について皆さんの意見をお願いしたい。

〔上村委員〕

5区案の③について、龍田をはじめ5校区は、説明会等において非常にいろいろな意見が飛び交ったところで、ここを移すと、北部町は龍田あたりと一緒に区を作ってほしいとか、清水地域については、6区案が出来ないのであれば中央の方に入れてほしいとか、いろいろな意見が出ている中、龍田校区を東の方に移すとなると、収まりがつかない状態になることが予想される。楡木校区は麻生田校区から分かれており、日ごろのコミュニケーションの関わりとか、消防団を麻生田と楡木と一緒にやっており、白川を渡らせるとなるといろいろ差しさわりも出てくる。A区については据え置きにすべき。

〔上野副会長〕

区の数については5区となった。江藤委員の案は置いておくとして、他の案を見ると、違いは飽田、天明を海沿いで一つにし、全体の人口バランス等を考えて非常にバランスの取れた案が提案されている。それから上村委員が言われた龍田、武蔵の取り扱い。それから西原をどちらにするか、この3つの論点が提示されている。今後、進めていく中で、この3つを全て体現した形で案は揃っておらず、一つの提案だが、今言われたように龍田あるいは弓削や武蔵を東部に入れるか、あるいはそのまま。海沿いの一体感をとるのか原案をとるのか、少しコンポネンに分けて意見を集約していただければいいのではないか。

当初、私は海沿いの方々が原案でそんなに違和感も出ていなかったようなので、原案でもいいと思っていたが、今日、何人かの方々に一体感があつた方がいいというお話も伺い、地域の方々の思いもあるのかと改めて思ったところ。

〔桑原会長〕

上野副会長からの発言のとおり、いくつかポイントがあるので、それについて議論した

い。本日は皆さんから今日ご覧になったこの5区案の3つの案について意見をいただこうと思う。

〔坂田委員〕

副会長の方から言われたように、5区案で②③④と行政の方から出したのがある。その中で違いが、植木を別にするのか、北の場合は龍田地区を東部に入れるのか。それと中央部の池田、花園、城西を中央に入れるのか、入れないのか。それと西南部を分けるのか、分けないのか。

お尋ねだが、区役所の位置も③案と④案には記してあるが、これで行くということか？

〔桑原会長〕

区割りとは区役所の位置は密接に関連するので、これまで一つのテーマとして議論してきた。実際提案のあった案では区役所の位置も区割りも3案では示してあるので、これを基に議論してもらっているところ。但し、江藤委員から提案のあった案では区役所の位置が書いてないのでお尋ねしようと思っていたところ。区役所の位置はどうお考えかと。但し、それぞれの案がこの区割りにはこの区役所と100%それに固定というわけではないから、いろいろな案を審議していく中で、違う議論が出ればそれは議論していいと思う。考え方として、区割りが決まりその次に、その区割りの中で一番いい区役所が決まると思うので、議論の過程の中でいろいろな折衷案というもの出てくる可能性があるとおし上げた。

〔坂田委員〕

例えば、A区の場合の大きな問題は、龍田をA区から離すか離さないかと、植木を単独とするかしないかと思う。パブリックコメントとかの中で一番出ているのは龍田とか旧市内の皆さん方が交通の便が悪く絶対行かないと出ている。清水市民センターであればいいと現時点では出ており、会長が言われたように、植木総合支所をA区の場合はそれ一本で行くのかははっきりしないと。私の個人的な意見ではこれでいいとは思いますが、区役所の問題では市民の皆さんの反発が予想されるし一番不安なところ。

〔桑原会長〕

江藤委員にお尋ねするが、区役所の位置はどのような考か？

〔江藤委員〕

5区案としては、植木は単独で結構ですと。区役所は植木総合支所ということ。清水地域は清水市民センター。私ども区割り審議会委員で調査に行ったら私は適切な場所ではないかと思っている。C区については西部市民センターを拡張すれば、用地買収もできるのでそこで結構ではないかと。2本の道路も通っているし、交通の便も非常にいいので西部市民センター。中央区役所は市役所。E区については県の免許センターで行ったらどうか。

〔牧野委員〕

今、植木が単独という話が出ているが、もともと単独は望んでいないということで、最初からこの話は出したつもり。植木は、均衡ある発展を望むということを基本理念としてきているのでご理解いただきたい。

〔江藤委員〕

牧野委員から話があったが、植木の問題については法定協で一度たりとも拡張の話はなかった。区役所をくださいという説明で、これは一切の確約もなかった。牧野委員が言うのは住民投票をし、合併が決まってからそういう欲を出したものだ。当時の法定協の時にそういう議論は一遍も出ていない。

〔牧野委員〕

研究会あるいは法定協の中では区役所については植木に持ってくるという話になっており、区割りの話はおそらくなかったらと思う。どこで割るかの話はもう一回確認をしたい。

〔事務局〕

法定協では、江藤委員が言われたように、区役所の位置を当時の植木町役場にするということは議論したが、具体的な区割りについては一切やっていない。

〔崎元委員〕

今の議論のように植木の単独区は、6区案の時にかなり議論して、法定協議会でどうこうではなく、今区割りをここで議論している。その議論の中で、植木地域の人たちは単独区を望んでいないという説明があった。その他、少し問題だと感じるのが、人口バランスで、単独区が出来ると当然その時の議論でもあったように、3万の区が出来るということで、バランスあるいは発展性に問題があるのではないかと。5区案の②は、人口バランスで、3万と20万で7倍。7倍の大小の区が出来るとするのは非常に市全体としての運営に問題があるのではないかと。あるいは税収入と投資のアンバランスを生むのではないかと。もう1点、これまで議論がなかった面積の話だが、面積バランスは、この案では5倍である。特にC区の利便性は非常に住民にとって問題になるのではないかと。さらに、広いC区のコネクトが少し見えないと思う。

〔江藤委員〕

崎元委員の交通バランスと面積について反論する。これについては、交通の面は、車社会なのでC区は広い面積だが交通の利便性から見ると非常に一番いいのではないかと。逆にE区とかB区とかよりも田迎から城南に向けての田迎木原線とか、田迎新港線あるいは新しい港線と道がたくさん通っている。交通渋滞を考えると、東部やE区域やB区域より交通の利便性は非常にいいと考えている。面積の問題については、他の政令都市を見てみると3万のところもあるし、それぞれの市の考え、合併の成り行きで、私は良いのではないかと考える。

〔桑原会長〕

人口についても崎元委員から7倍近い開きがあるのではという指摘があった。5区案6区案を審議した時にもそういう意見があったのは、植木だけ単独にすると人口が3万ぎりぎり、全国で一番小さな区が堺市の3万9千だと思うが、それよりも1万近く少ない全国で最小の区が生まれるという指摘もあったが、そのあたりについては江藤委員、いかがか？

〔江藤委員〕

第1回目の区割り審議会では15万程度にしようという話があったが、私どもの頭の中には初めから合併区とは別問題という理念が法定協の中あるいは研究会の中であっている。逆に言うと赤星委員が出された4区案が一番正常な当初の考え方。人口の問題、例えば植木を単独区にして、今の北部の皆さん方はずっと不自由しながら熊本に来ている。これを逆に流れることについて。あるいは市民説明会で龍田あたりも相当な反対の議論が出ている。田迎、御幸、田迎南の人口は3校区だけで8万人ぐらいいる。人口バランスとか交通の利便性を考えると私はそう問題ないと。市がよほど新しい道路を作ることではない限り西部地域のこの一体化というのはいいと思うし、極端に言うと一番交通の行き来が不便なのはB区ではないか。B区は交通体系がうまくいってないし、非常に住民の皆さんに迷惑をかけるのはB区と思っている。

〔桑原会長〕

これから5区の場合で審議を進めるということ、5区の場合について3つの案に集約するというところまで今日は進めさせていただいたが、時間もきたので本日はここまでさせていただく。皆様方、今日の議論を踏まえて次回に備えていただければと思う。私の希望としては、次回の審議会において、今ある3つの案を1つの案に絞り込みたいと思っているので委員の皆様には、再度持ち帰ってご検討いただき、次の開催では判断いただけるように備えていただければありがたい。